

## 第2回新居浜市レジ袋削減推進協議会議事録

- 1 開催日時 平成20年11月27日(木) 14時から16時
- 2 開催場所 清掃センター管理棟 3階会議室
- 3 出席者  
(市) 加藤部長(環境部)、本田課長(ごみ減量課)、亀井係長(ごみ減量課)、  
長谷川(ごみ減量課)、  
(スーパー) (株)木村チェーン、コープえひめ、イオンリテール(株)、(株)フジ、  
マックスバリュ西日本(株)、(株)ママイ、(株)マルヨシセンター  
(ドラッグストア) (株)レディ薬局  
(ホームセンター) ダイキ(株)  
(関係団体) 新居浜商工会議所  
(消費者団体等) にいはま環境市民会議、にいはま消費者友の会、  
グループさつき生活学校
- 4 欠席者  
(スーパー) (株)マルナカ  
(ドラッグストア) メディコ21、(株)大屋マック本部  
(消費者団体等) 新居浜市女性連合協議会

### 5 意見報告

(事務局)

定刻が参りましたので、ただ今から、第2回新居浜市レジ袋削減推進協議会を開催いたします。

本日の出席状況ですが、マルナカ、マック、メディコ21及び新居浜市女性連合協議会は欠席との連絡を受けております。また、サークルケイ、ファミリーマート、ローソンのコンビニ各社については、日本フランチャイズチェーン協会の趣旨の下、レジ袋削減に取り組んでおり、本協議会への参加は辞退したいとの連絡がありました。スーパー、ドラッグストア、ホームセンター等については、全国各地で協定等を締結していますが、コンビニは参加していないという状況であり、やむを得ないとは思いますが、今後も議事録等は送付して、できる限りの協力依頼を行うつもりですので、ご了承ください。

それではまず初めに、前回会長に選任された加藤環境部長に挨拶をお願いしたいと思います。

(加藤会長 あいさつ)

(事務局)

ありがとうございました。それでは、これから議事に移りますが、議事の進行は、前回決定した規約に基づき加藤会長にお願いします。

(加藤会長)

それでは、会次第に沿って議事を進めたいと思います。

まず、前回お配りしたレジ袋削減に関するアンケート調査の結果について、集約したものを皆さんに事前に送付させてもらっていますが、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

(加藤会長)

事務局からアンケート結果の説明がありましたが、何か質問やご意見はありませんか。

(木村チェーン)

アンケート結果をみますと、全体的に見てレジ袋有料化が可能であると、考えております。皆さんの足並みが揃えばそれにこしたことはありませんが、いつか必ずしなくてはいけない取り組みだと思えます。我々には経験がないことなので、マックスバリュさんの成功例をもとに、協議会の中で柔軟に決まれば良いと思えます。

(コープえひめ)

最低限、同業種のスーパーの皆さんで同意が得られれば、有料化の協定に進みたいと思っております。ポイント等で十何年色々呼びかけても、持参率は3割に届かないのが現状なので、有料化以外で有効な手段がないのではないかと思います。やるのであれば事業者だけではなかなか踏み出せませんので、市民、行政、事業者が一緒に取り組んでいくことが必要であると思えます。あまり猶予はないと思えますので、できるだけ早く第一歩を踏み出せばと思います。

(ママイ)

今回、初めて参加しましたが、正直ここまで皆さんの気持ちすすんでいるのだと、初めて実感いたしました。事業者だけではなかなか前に進まないと思えます。アンケート結果でも行政が先頭に立っていただけたらという声も多かったのですが、ここに来られている皆様はほとんど賛成の方だと思えますので、3者が協力して進めていくべきだと思えます。

(マックスバリュ)

アンケート結果を見ると、ここまできたら、停滞する理由はないもないという気がしております。同業者ができるだけまとまれば良いと思えます。スーパー各社、お互い営業の方では切磋琢磨しており、非常に競合状況にありますが、こういう社会的な問題については垣根を取り払って、できるだけ情報を共有化して協力しあう必要があると思えます。一部同意できない事業者もあるようですが、とりあえずスタートできる状況にきていると、

考えております。

(イオンリテール)

当社の他店で実施しているところでも、上手くいっている事例がたくさんありますので、できるだけ早く、レジ袋無料配布中止をすすめていきたいと思えます。

(マルヨシセンター)

社内で有料化を進めるにあたっての合意までは、とれておりません。協議会に出席させていただいて、情報を社内に持ち帰り、検討はしていきたいと思えます。一部の事業者のみで実施した場合に、売りに影響することも考えていかななくてはなりません。他社の成功事例をもとに勉強していきたい。

(フジ)

慎重な立場でいしましたが、みなさん非常に前向きな姿勢ですので、当社としてもそういう形で上の方に報告しており、みなさんと一緒にやっていたらと思っております。

(レディ薬局)

スーパーさんでの成功事例はあると思えますが、ドラッグストアは業種が違うので、社内協議自体もあまり進んでいない状態です。そこで、この協議会でお話を聞き、今後有料化を検討する際に、参考にさせていただけたらと思えます。

(ダイキ)

ダイキはグループ会社を作っておりまして、その方針が正式に決まっていなこともあり、何か取り組みをしているというのではありません。松山の方で、市が主催したレジ袋削減キャンペーンには参加させていただいております。当店においても、レジ袋不要の方は入れて下さいというBOXは設置しておりますが、ごみ袋として使われる方もいらっしやって、持ち帰られる方が多いです。今年から灯油販売の際に、不要の方は申し出てくださいというチラシを作成して、声掛けをしております。現状として、レジ袋の有料化ですとか協定締結などは、方針が出ていませんというお答えしかできません。

(新居浜商工会議所)

私が考えていたよりも、皆さん前向きで正直驚きました。お店によってはすんなりいかなところもあると思えますが、この勢いに乗って、早く実現すればいいなと思えます。商工会議所としては、啓発、PRの面で全面的に協力させていただきたいと思えます。

(環境市民会議 眞鍋)

行政がこれだけ前向きにやるというのは、他ではあまり事例がないと思えます。このチャンスを逃すと、もうないと思えます。できるだけ市民も協力していきますので、この際やりましょう。

(環境市民会議 石塚)

マイバックフォーラムを開催してみて、3者が一体になって、レジ袋削減に取り組める状況ができたと確信しました。フォーラムに参加していな市民に、きちんとした啓発を行政のほうでもしていただき、私たち市民も協力していきたいと思えます。

(にいはま消費者友の会)

皆さん色々考え方も違うので、行政から事業者、市民に、強く呼びかけていただけたらと思います。

(グループさつき生活学校)

消費者の考え方がまとまらないことが、事業者の方が躊躇する理由であると思います。消費者がわがままになって、消費者としてのモラルが低下していることもあります。地球のこと、未来の子供たちのことを考えると、こんなことを言っている猶予はないと思います。レジ袋削減というのは、地球のエコの第一歩にすぎません。どうぞ皆さん協力して、一緒にやらせて下さい。

(加藤会長)

それでは、前回の会やアンケートでも、既に無料配布中止を実施しているマックスバリュさんの、お話を聞きたいという意見がありましたので、マックスバリュさんの取り組み状況について説明していただこうかと思います。マックスバリュ西日本の渡辺様、よろしく願います。

(マックスバリュ 説明)

(加藤会長)

ありがとうございました。ただいまのマックスバリュさんの説明に関して、何かご質問はございませんか。

(グループさつき生活学校)

レジ袋の値段について、公正取引委員会から何かあったと、お聞きしましたが。

(マックスバリュ)

当初こちらから聞きに行ったところ、レジ袋を5円で売る際に、事業者が一律5円で売るとするのは、独占禁止法に違反し、談合になる可能性があると言われました。ただし協定締結の際に、各事業者が連名ではなくて、行政、消費者団体と事業者が個別に結ぶことで、談合とかカルテルを排除しました。ところが最近、事業者が5円で売るとしても、すぐそれが問題になるわけではないという意見が公正取引委員会から出ておりまして、状況が変わっております。

(にいはま消費者友の会)

相生市での他の事業者の参加状況は。

(マックスバリュ)

相生市は業者が少なく、独自に無料配布中止を実施されていたコープこうべさん1店舗と、カワベさんという相生市に本社があるスーパーと、マックスバリュ2店舗だけで、あとはコンビニ等なので、非常に話が早かったです。

(にいほま消費者友の会)

私の孫たちに、コンビニに行く時にマイバックを持つように言ってもなかなか実行してくれないのを見ると、子供たちへの教育も必要だと思います。

(マックスバリュ)

当社の店舗でも、コンビニのような24時間営業の店舗があり、夜間の売り上げも高いのですが、有料化を実施して2週間の数字ですが、持参率は有料化しても76%ぐらいで、8割を下回っています。お客さんから若干の皮肉めいたことを言われることはあっても、問題なく実施できております。やらない理由は探せばいくらでもあります。実施してみれば、そんなに問題があるわけではないと思います。

(フジ)

実施セレモニーは、最初のお店だけ実施されたんですか。また、啓発ポスターの掲示時期は。

(マックスバリュ)

セレモニーは相生市でも、広島市でも実施しました。姫路市ときは、マックスバリュだけで22店舗同時に実施しましたので、セレモニーは実施しませんでした。ポスターは協定締結の翌日から掲示しました。

(ママイ)

イオンさん、マックスバリュさん、ともに日本有数の企業で、われわれは地方の弱小企業ですから、これらの啓発資材を自社でやるとなると、予算のこともありますので、それができるかどうか。私どもは専門の部署もあるわけではないので、その辺は多少ご理解頂きたいと思います。

(マックスバリュ)

入り口用の看板は、行政で準備していただくことは可能ですか。

(加藤会長)

市も財政難で非常に厳しい状況で、予算を新たにつけるためには、自分のところのどこかの予算を削って支出するようになります。来年度の予算の中で強く要求はしていますが、つくつかないかは全く分からない状態です。ついたとしても来年度からになりますので、みなさんと協議がまとまり、発注するにしても4月以降になります。

(事務局)

まず看板ですが、「レジ袋無料配布中止」という文言では作成できないと思います。「マイバックを持参しましょう」というような文言になりますが、予算要求している内容は、各店舗用の啓発用ののぼり、ポスターです。それらを活用して、市民団体の人と一緒に活動するようになると思います。市政だよりへの掲載やケーブルテレビでの放映は無料です。最低限、ポスター、のぼりは来年4月からすぐに使えるように、予算要求しております。

(加藤会長)

議会の議決が必要になりますので、われわれが思っている通りにいかない部分もありま

すが、我々としては皆さんと協議して、一緒に実施していきたいと思います。

(フジ)

ポスターに関連して、表にマイバックを持参しましょうという啓發文書と、裏面に事業者、市民団体、行政が、協定を結んで一緒にレジ袋削減に取り組んでいる内容の文書を、お客様に配布すればわかりやすいと思います。

(事務局)

印刷費として予算要求していますので、皆さんの意見をお聞きして、皆さんが必要なものを作成したいと思います。ただ、市で環境美化推進協議会のなかで、年に1回、フジさん、イオンさんの店舗入口で、ティッシュとかチラシを配布しておりますが、その時に言われるのが、ティッシュは持ち帰ってくれるが、チラシは入口で配布しても、すぐにごみ箱に捨てられるので、お店の方からなるべくチラシは遠慮してほしいという声もありました。

(環境市民会議 眞鍋)

各店舗で、できるだけ同じ取組をすべきだと思います。お店の店頭で協定書を大きく刷したものを掲示し、さらに、店員が啓発用のたすきを掛けている方が、分かりやすい気がします。最近はティッシュもなかなかもらってもらえなかったりしますので、配布するのは、あまり効果的ではないと思います。

(加藤会長)

業種間で若干のニュアンスの違いがありますが、行政としてはできるだけ多くの事業者に参加いただきたいと思います。スーパーさん以外はどのようにお考えでしょうか。

(レディ薬局)

社内でレジ袋の削減の話は出ていますが、有料化というところまで検討していない状況です。協議会でこういったお話を聞いて、大体の流れはわかりましたが、システム的な問題と、全店統一するのかそれとも新居浜の店舗だけ実施するのか、色々問題があります。

(ダイキ)

ホームセンターの場合、サッカー台がなく、お客様につめこんでいただくスペースがありませんので、現状のレイアウトを変更しなければならないのが、大きな要因だと思います。ダイキだけでも大変ですし、グループ全体の方向性を出すのは難しいと思います。現在、有料化以前の削減に取り組んでおりますが、みなさんと比べれば、まだまだ遅れている状況です。

(マックスバリュ)

業種が違えば、やり方も異なります。どうしても袋を配布しなければならない商品もありますし、例えばスーパーでしたらお寿司のバックですとか、またホームセンターなら農薬なんかは別の袋にする必要があります。やはり同業種間で話し合っただけでやるしかないと思います。

(加藤会長)

アンケートを見ましても、レジ袋を市全体で削減していくということには、賛同していただけていると思いますので、そういった思いがあるのであれば、協議会に参加していただく意義があると思います。

(マックスバリュ)

龍野店で10月10日から無料配布中止を始めましたが、龍野市は次の取り組みとして、クリーニング店にも呼びかけています。

(加藤会長)

徐々に拡大していければいいかと、考えております。マイバックフォーラムにおいても市民から「行政はもっと頑張れ」という声もありましたので、できるだけ早い時期に、できるところから実施できればと思います。

(事務局)

名古屋市ではこの4月からスーパーに続いて、ドラッグストアでも無料配布中止を実施しました。スーパーと形態も違うということで、当初、60%程度を目標にしておりましたが、9月の実績では、対象商品を絞っているかもしれませんが、ほとんどのドラッグストアで90%を超えており、一番多いところは97%に達しております。ですからドラッグストアでもやり方によって、できる可能性はありますので、市もできることは協力して取り組んでいきたいと思っております。

(マックスバリュ)

できれば補正予算を組んでもらってでも、4月1日にスタートしたいですね。

(加藤会長)

補正予算は、電気代など緊急性があるものに限定されますので、非常に難しいです。

(フジ)

新居浜市のように、市が先頭に立って推進するところは、あるようではないと思います。なかには、一応協定は締結するけれども後は全て事業者任せだったり、行政に話し合いの場を持って下さいと言っても、取り合ってくれなかったりするところもあります。私も最初話があったときは、まだ新居浜では難しいのではと考えておりましたが、ママイさん、木村チェーンさんも前向きな姿勢なので、これは上手くいくのではないかと思います。

(加藤会長)

今回の協議会を1月に開催して、最も早い場合だと3月に締結できるのではないかと考えます。できるだけ皆さんに賛同していただきたいと思いますが、より話し合ってもらなかで、場合によって時期は後にずれ込むことも考えられます。

(環境市民会議 石塚)

行政として、予算がないことには先に進めないということはわかりますが、事業者の方もその気で、またマイバックフォーラムでも消費者が期待していることもわかりましたから、できるだけ早い時期に実施できるようにしていただきたいと思っております。

(フジ)

新居浜市の家庭ごみの有料化は先延ばしになって、実施時期は未定なんですか。

(加藤会長)

平成21年10月の実施を先延ばしにするということなので、有料化自体の考えをやめたわけではありません。今の経済状況も踏まえ、有料化前にさらに減量施策を推進すべきとの声も多かったので、そのようなことを踏まえた上で、この任期中には市長も必ずやりたいということですよ。

(フジ)

マックスバリュさんが以前から使われていますが、無料配布中止という言い方を全面的に使っていかないと、「有料化」というと、ゴミ袋の有料化と同じ感覚で、またこっちでもお金がかかるのかと考える可能性もあります。できるだけ「有料化」というイメージをなくして、お金がかかるというのではなくて、マイバックを持っていけばいいだけですよ、というようにしていくべきではないでしょうか。

(事務局)

家庭ごみの一部有料化は先延ばしになりましたが、分別の変更は来年10月に実施します。それに伴い、現在袋に入れて排出してもらっている、ビン・カンについては、ビンがコンテナ収集になり、カンがネット収集になりますので、袋での排出ができなくなります。その点では少し前進すると言えます。最終的には家庭ごみを有料化することで、レジ袋の使用も減少することになると思います。

(グループさつき生活学校)

スーパーの方にお願ひがあるんですが、お客さんにいいと思っていただいていると思いますが、レジの方が必要以上にレジ袋をくれたりするんで、その辺の教育をまずしていただきたいと思います。

(フジ)

今までそうするのがサービスですよと、教えてきているところもあります。冷たいものと暖かいものは別にしないと、文句を言う方もいたりして、そのようにしてきておりますが、それが浸透した中でやめると、またお客様に言われたら困るなと思うのも事実ですので、それをどのように理解してもらおうか難しいところです。無料配布中止ということになれば、必然的にそうせざるを得ませんが、今のままでは、お客様からのクレームも予想されますので、事前にお客様にお伺いしてお渡しするという形に、変えられるところは変えていければと思います。

(加藤会長)

みなさんからも実施を早くということなので、もし3月に協定締結した場合、市の広報誌に掲載するのは、原稿の締切りが2ヶ月前になりますので5月号以降になります。そのため実施も、5月以降になるのではないかと考えます。とりあえず、スーパーマーケット

用にレジ袋無料配布中止の協定案を事務局で作成し、内容について検討していただきましょうか？また、それ以外の業種向けに有料化以外の削減方法での協定案を作成して、それを見て締結できるかどうか検討していただきましょうか？

(環境市民会議 石塚)

「有料化」というよりも「無料配布中止」にした方がいいのではないのでしょうか？

(加藤会長)

先ほどもお話がありましたので、今後協議会としては「無料配布中止」という表現で統一していきたいと思います。

(マックスバリュ)

事前に協定案を送付していただければ、検討して返送したいと思います。

(事務局)

スーパーについては、無料配布中止に向けての協定書案を事務局で作成して、みなさんにできるだけ参加していただきたいと思います。無料配布中止の協定を結ぶとすればこういう形です、というのを次回までに用意して、事業者としてそれに賛同できるかどうか結論を出していただきたいと思います。ある程度のところが賛同できれば第1陣としてスタートし、どうしても当初に参加できないところについては、後から準備できれば順次参加という形でいいのでしょうか。

(マルヨシセンター)

ひとつ気になっているのが、新居浜市では現在レジ袋がごみ袋として使用できるわけですが、その袋にお金がかかるとなると、市民の方から本当にご理解がいただけるのかどうか。

(環境市民会議 石塚)

家庭ごみの有料化と同時に、レジ袋無料配布中止を進めるのは大変いいことであると思いました。しかし途中から市長の方針が変わりましたので、ごみの有料化とは切り離して、地球温暖化防止の観点から、レジ袋の削減が必要であることを、市民の方にわかっていただくことが重要です。

(事務局)

最近フジさんは、四万十市の店舗でレジ袋無料配布中止を実施しましたが、四万十市ではごみは有料ですか。

(フジ)

有料です。また広島市は指定袋での排出のため、レジ袋は使えません。当社が無料配布中止を実施した店舗の自治体は、すべて有料でした。ですから、レジ袋がごみ袋として使える地域での実施は、イオンさん、マックスバリュさんは経験があるとは思いますが、当社は経験がありません。ごみ袋に使える場合は、お客様からのクレームも普通のところより多くなる可能性が高いと思います。それが事業者にくるのか、市にくるのか考えると、事業者にくることが多いのではないのでしょうか。

(事務局)

家族が多いところでは、通常大きなごみ袋に入れて排出するところも多いと思いますが、単身世帯等では、レジ袋のまま排出されている方も多いと思いますので、そこへの影響が大きいです。ですから、全員が賛成してというのは難しいと思います。

(グループさつき生活学校)

近所のステーションを見ても、レジ袋で排出している人はたくさんいます。

(事務局)

どのようにアピールしていけばいいですかね。レジ袋をもらえるのが当たり前、それがごみ袋に使用できるのが当たり前というような考えを、変えてもらう必要があるのではないのでしょうか。

(グループさつき生活学校)

意識を変えてもらうために、消費者の学習が必要です。マイバックを持っていけばレジ袋がいらなくなるわけですから。そうしないと、事業者に対してサービスが悪いというクレームが来ることも考えられます。

(環境市民会議 石塚)

朴先生も、「意識を変えれば行動が変わる」というのではなく、「行動すれば、意識も変わる」というように言われていました。確かに、家庭ごみの有料化の状況が変わったことで、レジ袋の削減が行き届かない部分もあるのではないかと思います。マイバックを持つことを習慣化していくことが大事だと思います。

(事務局)

協定締結時期について、先ほど3月という話がありましたが、それよりも早く締結して、レジ袋が有料になるから、ごみはレジ袋以外のごみ袋で出しましょうという周知期間を少しでも長くとり、またスーパーの足並みがなるべく揃うような協定で進めていくぐらいしか、方法はないのではないかと思います。絶対にレジ袋を使っている人から文句がでませんとは言えませんが、市としてなるべく周知していきたいと考えております。また予算がつくにしても、4月からの予算になりますので、市で作成したものを使って始めるのであれば、4月に発注後、物が来るのは5月になり、開始は5月の途中もしくは6月からになります。協定締結については、どんなに早くてもいいですから、3月が遅いのであれば、2月に締結して、広報誌等で出来る限りの周知をしていきたいと思います。

(マックスバリュ)

色々なマイナス要因は、新しいことをやる時はあると思いますが、そういった問題もできるだけ多くの参加者がいてスタートした方が、クリアできるということですね。

(マルヨシセンター)

市民の方から聞かれたときに、レジ袋以外のごみ袋で出しましょうと言っても、そのごみ袋もプラスチックですから、結局プラスチックのものに入れて出すとなると、買おうが無料でもらおうが同じことになるのではないのでしょうか。

(事務局)

本来は無料ではなかったものを、無料でもらっていたのであって、必要なものはお金を払ってもらい、お金を払いたくないのであれば、マイバックを持参してもらい、つなげていくことが必要であると思います。

(環境市民会議 眞鍋)

ごみ有料化とレジ袋の問題を同時に考えると難しくなりますが、結局はどちらかが後先になります。ポイントは、新居浜市内であればどこのお店に行っても対応が同じであれば、問題は解決すると思います。お客さんにできるだけ納得してもらえようような答えを考えて、どこに行っても同じように答えられるようなものを、こちらで作成すればいいと思います。

(マックスバリュ)

ごみ有料化とレジ袋無料配布中止も、お金がかかるようになればインセンティブが働き、それだけ減るということですね。無料であったり、税金のみでやっていると直接はわからないですから、減らそうとせずに出すと思います。ただ、5円で売っている袋を5枚、10枚と購入しようとする人も中にはいます。やはり原価に近い値段だからなのかもしれませんが、そういう場合これは商品ではなく、あくまでも買い物用の5円の袋ですということで、お断りしております。

(環境市民会議 眞鍋)

水道料金を払うことに文句を言う人はいませんが、もしそれが無料であれば好きなだけ使うと思います。お金を払うから節水するのであって、本質的にはそれと同じことだと思います。やはり有料化をすることでインセンティブが働きますから、それをいかに有効に使うか、方法の問題です。

(グループさつき生活学校)

各家庭に、レジ袋がごみ袋として使われる程度の枚数しかないのでしたら、問題はないかもしれませんが、今は各家庭でたくさんのレジ袋が眠っていて、それがすべてごみになって燃やされているので、それが大きな問題です。

(木村チェーン)

当社としては、明日から有料化しようと思えばできますが、問題は環境であって、当社としてレジ袋に対して有料化という部分を営利とは考えていません。市民の意識づけ、社会貢献の一環として考えております。

(マックスバリュ)

せっかく新居浜市さんは早くから取り組まれて、非常にいい形でできており、ただ予算だけの問題でずれ込んでいるだけなので、あとから来たところに先を越されることのないように、できるだけ早く実施していただきたいと思います。

(事務局)

次回の協議会は1月下旬までに開催したいと思いますので、日時場所が決まりましたら、ご連絡いたします。それまでに事前に協定案を送付しますので、できればそれを見ていた

だいて、社内でも協議していただきたいと思います。

(加藤会長)

それでは、本日は熱心なご討議ありがとうございました。